

グリーンセイバー検定事業のあり方検討について

1. 背景・目的

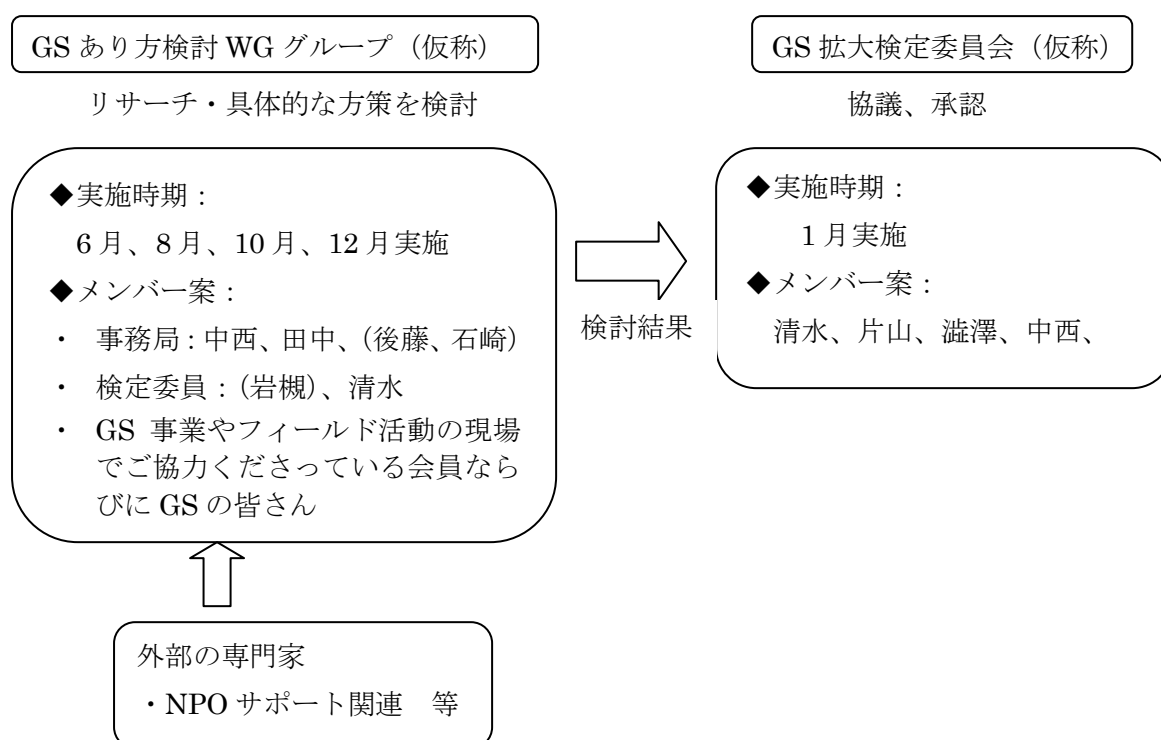
グリーンセイバー検定事業（以下、GS事業）は、当協会の活動を実施する上で、植物と自然・生態系に関する正しい知識をもった人材を育成する目的で、当協会の発足より少し遅れて検定事業を開始し、これまでに多くのグリーンセイバーを輩出してきました。

開始当初は、受験生・セミナー受講生も多かったのですが、年々減少傾向となっています。さまざまな時代の変化や、世の中のニーズ・年代構成の変化がその背景にあると考えられます。一方、当協会において、各事業における会計上の実態について、管理費や間接費を含めたコストを見直した結果、GS事業にかかるコスト・費用については、赤字額が非常に大きいことが明確になりました。このことから、重要な基幹事業とはいえ、財政上の実態を踏まえると、当事業を発足当時と同じ方法・やり方で継続することは問題があり、そのあり方、方法等を見直す時期にきていると考えます。

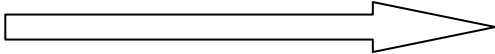
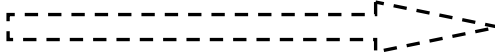



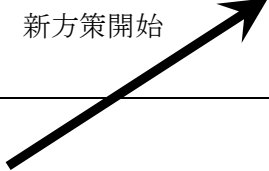
したがって、今後のGS事業について、あり方・具体的な方法を検討する取り組みを実施することとしました。

2. 検討の方法について

現場の担当者、GS、関係者等のメンバーによりワーキンググループをつくり、年4回程度のワーキングを実施します。1月のGS検定委員会を期に、GS拡大検定委員会（仮称）を実施し、本案件について、検討結果を報告・ならびに協議を行います。ワーキンググループのメンバーは、基本メンバーは設定するものの、必要に応じて適宜、外部の専門家を含めて、適切なメンバーを都度加えます。



3. スケジュール

| | 2015年 | 2016年 | 2017年 |
|---------|--|--|--|
| GS検定事業 |  ・現行実施 ・2016年度の準備 |  ・現行実施＋一部、新方策の試行 ・2017年度の新方策の告知活動 |  新方策開始 |
| GS見直し検討 |  ・WGでの検討 方向性・具体的計画の策定 総会 5/31 → 6月 → 8月 → 10月 → 12月 承認 第1回 第2回 第3回 第4回 WG WG WG WG →1月 委員会 |  ・新方策 準備期間 ・WG 4-5回 委員会 1回 |  移行 |

4. 検討内容

①現状の把握

- ・GS事業の流れ（これまでの経緯&単年度の1年の流れ）
- ・GSの財政状況・世の中のニーズ変化

②論点

- ・前提条件の確認：人材育成事業の継続
- ・当協会におけるGS事業の位置づけ（人材育成への投資事業と考えられるか etc.）
- ・具体的な改善方法、新しい人材育成事業の具体的方法

③課題：知識（テキストやセミナーの内容）の継承方法

現GS・現GSシステム（登録等）のフォロー、少数ながら関心ある人への対応

現在フィールドと事務局のある関東・関西圏のみ → 全国からの参画方法 → 聚活動全体の変化

財政上の健全化の担保